

会員団体の取組事例紹介

栗原市の取組事例紹介

栗原市では、平成20年3月に「栗原市環境基本計画」を策定しました。この計画では、今まで市・市民・事業者等がそれぞれ行っていた環境に対する取り組みについてパートナーシップの形成を図り、お互いの連携・協力のもと、目標とする将来像「人と自然が共生する『ふるさと栗原』の暮らしの創造」の実現に向けて各種施策を展開していくこととしています。

以前から、栗原市では各地区内の一斉清掃や植栽活動など地域に根付いた環境活動が活発に行なわれており、計画策定に際し実施した市民アンケート調査でも、ごみの分別をはじめとする3Rなど環境意識が高いことがわかりました。市としても市民や事業者の環境意識のさらなる向上と環境負荷の低減に向け、さらに身を引締め環境施策に取り組む必要性を感じています。

栗原市のグリーン購入の取り組みとしては、リサイクル製品や長期使用可能な製品など、環境負荷の少ない製品の購入を進める地方公共団体としての取り組みだけでなく、市公衆衛生組合連合会総会や栗原市産業祭り『らずもねえ祭りinくりはら』において、みやぎグリーン購入ネットワークのご協

力をいただき、パネル展示などを通してグリーン購入を広く呼びかける啓発活動を行なっています。

栗原市には、国定公園に指定されている栗駒山やラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼など大切な自然が残されています。これらの自然を未永く守り次世代へ継承していくためには、環境保全活動はもちろんのこと、グリーン購入をはじめとした環境負荷の低減や資源循環システムの構築に向けた取り組みも大変重要なものだと認識しています。今後も市内外の皆さんとの協働により、豊かな環境のさらなる創造と循環型地域社会の構築を目指していきたいと考えています。



新規会員のご紹介

(有)エアコンセンター (株)稲妻呉服店 (株)エスコム (株)東北ハンドレッド みつづか総合保険企画 中村印刷(株) 妙法産業(株) 石巻商工信用組合 (株)後藤総合税経 (有)サトウシーピー (有)マサミコーポレーション (株)七十七銀行

(平成20年5月31日現在 企業138、団体22、行政19 合計179)

お知らせ

一斉行動キャンペーンに参加しましょう!

買い物袋を持って、旬や地場の食べ物を選ぶ
～食のグリーン購入で地球温暖化防止～

●キャンペーン期間：6月1日(日)～6月30日(月)



編集後記

グリーン購入って何？から早5年目を迎えます。グリーン購入は環境への負荷が少ない商品・サービスを優先的に購入することが大きな目的です。環境に配慮した行動は、個人的に得た結果、環境に良いことだったんだ、ということが理解されたのでしょうか。ある方に言われました。「家庭の主婦なら当たり前な考え方だよ、品選びも買い物も財布の中身と相談しながら、買い控えたり安心安全なものを選んでるよ。ところで古紙100%が本当に環境にいいの？小学校の時使っていた糞草紙より白いのが不思議だね」答えに詰まってしまいました。今や古紙偽装問題と騒がれ社会的問題になっているものの、誰が最初に環境に良いと言い始めた

のでしょうか。その検証を明らかにしていくことも大切なことでしょう。普及啓発する中で私たちが疑問に思うところです。何でもかんでも環境に良いとかやさしいとか、その基準を定めないままに雰囲気流されてはいないか、普及啓発する側もやはり真剣に考えていかなければと痛感するところです。

最近の異常気象により小麦が不作で少少づつではあるものの値上がり家庭の財布にも影響しています。地球温暖化の一因は我々人間にあり、SF映画の「ディ・アフター・トゥモロー」の一場面が思い出されます。誰かがではなく自分がその原因を作っている一人であること。今は亡き母が言っていた「いつまでもあると思うな親と金、無いと思うな運と災難」の言葉がなぜか最近特に身につまされます。

発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局
〒981-3121宮城県仙台市泉区上谷刈三丁目10-6
(NPO法人環境会議所東北内)

TEL:022-218-5451 FAX:022-375-7797
E-mail m-green@miyagigpn.net
URL http://www.miyagigpn.net



みやぎGPN

ニュース



2008.6

Vol.5

今回の内容

- 代表幹事挨拶
- 平成19年度活動報告 (活動・決算)
- 平成20年度事業計画、予算書
- 会員団体の取り組み事例紹介・栗原市
- 新規入会会員紹介
- お知らせ
- 編集後記

グリーン購入の推進にむけて

代表幹事 猪股 宏 (東北大学大学院工学研究科・教授)



グリーン購入(GPN)にとって2008年は、リサイクル紙の偽装問題があり、激動の1年を予感しながらスタートしたという印象があります。2007年のノーベル平和賞が、IPCC+ゴア氏に授与され、温暖化と環境対策が重要という認識が浸透し「チームマイナス6%」に代表される活動も活発化してきた折であっただけに、残念な事件でした。し

かし、この事件を契機に、種々考えさせられることがありました。古紙・性能・経済性・スペックなど要素は複雑で、本質的に「グリーン=地球に優しい」のは何なのか？どうやってその判断をすれば良いのか？・・・簡単ではありませんが、状況に応じて判断せざるを得ないのが実状でしょう。となれば、判断のための情報は正確であることが大前提になりますので、この原則は普遍・必須なものとして共通認識を持つ必要があると感じましたし、多くの人も同様の思いを持たれたのではないのでしょうか。

さて、2008年は、みやぎグリーン購入ネットワークにとって、区切り・

飛躍の年には是非ともしたいと思っています。なぜなら、皆様御存知の「洞爺湖サミット」が7月に開催され、多くの国民が「環境」を身近に考えるようになると思うからです。「洞爺湖サミット」での種々審議・検討内容はもちろんですが、それに前後して多くの「環境」「エネルギー」関連の行事・行動が計画されております。自ずと、マスメディアへの「環境」「地球温暖化」等のことばの露出が増えるのは間違いありません。そのような時こそ、環境問題での最大の課題、底辺拡大、民生への環境対策の周知が図られるのでしょうか。みやぎGPNにとっても、「グリーン購入」という言葉の周知を促進する地道な活動を推進していきたいと考えています。その際、「単に地球に優しいものを購入して下さい」では説得力がありません。我々の生活満足度が多様であり、評価軸が経済性だけではないこと、無形の価値観・満足感があることを認識してもらえるような行動が必要でしょう。そして、ひいては個人個人で将来の地球のために何をしたら良いのかを考えてもらえるようになるというのが望ましいシナリオではないかと考えております。

本当に徒然なるままに浮かんだことを書きましたが、この趣旨を汲んで頂き、皆様に御理解と御協力をお願いする次第です。

みやぎGPN平成19年度活動報告書

■普及啓発事業

(1) 会員自治体及び企業の環境イベントの出席をし、グリーン購入の普及啓発、みやぎGPNのPR活動を行いました。

イベント名	開催日	会場
栗原市公衆衛生組合連合会総会	5月28日(月)	くりはら交流プラザ「エポカ21」
第12回東北リコー環境フェア	6月8日(金)	東北リコー(株) 東北会館体育棟
白石市「さわやかフェスティバル」	7月21日(土)	ホワイトキューブ
石巻市「環境フェア2007」	9月23日(日)	石巻文化センター
「エコプロダクツ東北2007」	10月11日(木)～13日(土)	夢メッセみやぎ
利府町「リふ環境まるごとフェア2007」	10月28日(日)	利府町役場
栗原市産業祭り「らずもねえ祭りinくりはら」	11月10日(土)、11日(日)	栗駒岩ヶ崎馬場通り

(2) 平成19年5月28日栗原市公衆衛生組合連合会総会(場所:栗原交流プラザ「エポカ21」)において「グリーン購入について」事務局長の山岡講子が講演しました。

“今、地球は!”に始まり世界の現状、地球温暖化、フードマイレージ、3R1L、アル・ゴア氏の提言、消費者が環境に配慮された商品を購入すれば、企業も消費者に選ばれる商品を作るようになり、社会を変えることができる、循環の輪を完結させるのは私達です、と講演しました。会場脇のフロアでは、環境配慮製品ココヨ東北販売(株)提供の文具、電球比較等の展示、説明を行いました。講演後は、グリーン購入のコーナーに多くの方が積極的に立ち寄られました。



グリーン購入セミナーin岩沼「グリーン購入・環境に配慮された買い物ごっこ」

日 時:平成19年9月6日(木) 午後1時～3時
 会 場:ハナトピア岩沼(岩沼市)
 講 師:ACT53仙台事務局 佐藤郁子氏 みやぎGPN事務局 山岡講師
 参加者:岩沼市公衆衛生組合婦人部37名

岩沼市公衆衛生組合婦人部の研修会において、セミナーを開催しました。買い物をするとき環境に配慮された商品を選ぶために、ラップ、お茶、トイレトペーパーのそれぞれ4種類について、どれがどんな理由で環境にやさしい商品なのか考えていただきました。「商品についているマークを注意して見たのは初めてで、とても勉強になった」「CMなどを見て商品を選んできたけれど、商品の表示を見て比較検討すると選ぶ基準が変わった」という声が聞けました。



グリーン購入フォーラム2007『グリーン購入は地球温暖化を救えるか』

日 時:平成19年10月12日(金) 午後1時～5時
 場 所:夢メッセみやぎ
 主催者:グリーン購入ネットワーク、みやぎグリーン購入ネットワーク

地球環境の危機とともにグリーン購入の社会的意義を理解し、先進的な事例の発表によりグリーン購入の普及促進、交流などを目的に宮城県仙台市において「グリーン購入フォーラム2007」を開催しました。フォーラムには全国各地から184名の参加がありました。第1部フォーラム開会にあたり、中原秀樹グリーン購入ネットワーク会長、保理昭泰宮城県環境生活部次長、奥山恵美子仙台市副市長よりあいさつがありました。中原会長は、私たちの生産と消費のあり方が確実に地球温暖化へと繋がっているという現状で、誰もができることとしてグリーン購入があるということ、さらにその土台として、安心してよいものを選ぶような消費者の信頼をしっかり築くことがものづくりのあるべき基本姿勢だということをお話されました。

第9回グリーン購入大賞の表彰式も併せて行われ、みやぎGPN会員の(株)一・四・一が審査員奨励賞を受賞しました。詳しくはHPをご覧ください。

【第1部】記念講演 NPO法人環境生態工学研究所理事長 須藤隆一氏
 「地球温暖化の影響と対策をめぐって - 低炭素社会づくりをめざした消費者の役割 -」

【講演要旨】

2007年に発表されたIPCC第四次報告書で、地球温暖化が人為的な現象だということが科学者の視点からはほぼ断定された。日本でも異常気象の傾向は強まっており、気象データを元に高温になる日が増える一方で低温になる日が減少、大雨となる日が増加、桜の開花日が早くなっていることなどが示された。さらに、京都議定書によると、日本は1990年に排出した分の約14%にあたる温室効果ガスを削減しなければならないが、このままでは70%程度しか目標が達成できないだろうと言われ、新しい達成計画を考える必要がある。低炭素社会への転換が求められており、各分野における取り組みを進めるうえでグリーン購入の推進が重要である。地球温暖化という危機について多くの人に伝え、持続可能型社会の転換を進めるため低炭素社会を実現することが必要であり、将来の世代のために自らが行動していくことが重要である。

【第2部】交流会(仙台ワシントンホテルにて)午後6時30分～8時30分 参加者76名



写真右 GPN中原秀樹会長
 写真左 (株)一・四・一 施設管理部長 坂村さん



第9回グリーン購入大賞受賞者



須藤隆一氏による記念講演

グリーン購入
 ガイドブック
 特集 宮城県南
 エコな旅 作成



みやぎ
 GPN会員証
 作成



事業所見学、グリーン購入移動セミナー

平成19年11月1日(木)、宮城県内の一般募集者29名の皆さんとリサイクルに取り組んでいる4事業所を見学しました。リデュース(削減)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル、長期使用中のリサイクルに着目しての事業所見学です。

みやぎ生協リサイクルセンター

廃棄物管理システムに関する新しい社会モデルで、廃棄物の再資源化を促進するものであり、自分で収集・運搬・保管・加工・最終処理を行うことで不法投棄発生をほぼゼロにし、コスト削減に繋がります、食品リサイクル率が大幅に改善されたとのこと。



(株)安部工業・は～とふるリンクあべ

産業廃棄物の収集運搬業、中間処理業を通じて資源のリサイクルに積極的に取り組んでいる。現場で種類ごとに分別された廃棄物を品目ごとに、精選別・破碎することにより粒径をそろえ商品価値あるものに再生し、全ての作業を建物内で行っている。



(株)BWM

中間処理業ではなく製品製造業として、廃棄物ではなく原料として捉え、再品に安全な品質を求めることで、より高度なリサイクルの実現を目指している。木くずは破碎後、ボイラー燃料、製紙原料、家畜飼料、マルチング材に、廃石膏ボード破碎分別装置により、石膏と紙に分離し土地改良材等、RPF原料等リサイクルされる。



(株)オガワエコノス

紙・木くず、廃プラスチック類・繊維くずを原料として、それぞれ紙・木破碎機、プラ類破碎機に投入し、RPF成型機でRPF固形燃料製造する。RPF固形燃料は石炭代替燃料として主に製紙会社、発電燃料として主に製鉄会社に利用されている。



参加者の声

- ・リサイクルをした資源で新しい燃料を製造することは素晴らしい。
- ・リサイクルにかなりの人手がかかっているのが分かり、一人一人のリサイクルに対する取り組みが必要だと思った。
- ・リサイクル施設自体、全て周辺環境に気をつかいきれいだ。

グリーン購入シンポジウム

平成20年1月23日イズミティ21において、「グリーン購入シンポジウム」を開催しました。三部佳英宮城県環境生活部長の挨拶で開会し、第2回となる宮城県グリーン購入大賞表彰式、気象予報士斎藤恭紀氏による基調講演、宮城県グリーン購入大賞受賞者による事例発表を行いました。みやぎGPN会員、一般市民、行政、企業から140名の参加がありました。実践部門大賞は、パイオニアシステムテクノロジー株式会社、優秀賞株式会社ケーヒン、特別賞本吉町立大谷中学校、普及部門大賞は石巻地区森林組合が受賞しました。



基調講演

気象予報士 斎藤恭紀氏

「地球の発熱について教えて!斎藤さん」

気象予報士から見た異常気象、地球が発熱している=温暖化、仙台の気象、地球温暖化が与える影響について分かりやすく科学的な理論を元に講演していただきました。また、全員参加のクイズも実施し緊張感のある講演でした。



役員会の開催状況

- 幹事会
 - 第1回 平成19年5月10日(木)
 - 第2回 平成19年9月5日(水)
 - 第3回 平成20年3月24日(月)
- 企画運営部会
 - 第1回 平成19年5月8日(火)
 - 第2回 平成19年8月23日(木)
 - 第3回 平成20年3月11日(火)



平成19年度事業報告

平成19年度収支決算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科目	19年度		増減 決算-予算	摘要
	予算額	決算額		
I 収入の部				
1 会費収入	2,202,400	1,820,400	△382,000	A会員136件 1,482,000 B会員 52件 338,400 計188件
2 事業収入	1,625,000	1,835,000	210,000	
内訳 受託収入	1,575,000	1,785,000	210,000	宮城県より
	50,000	50,000	0	HPのパナー広告4件、講師謝礼
3 負担金収入	0	0	0	
4 補助金等	0	0	0	
5 雑収入	40,000	51,646	11,646	GPNチラシ配布手数料、原稿料、本売上等
当期収入合計(A)	3,867,400	3,707,046	△160,354	
前期繰越収支差額	346,069	346,069	0	平成18年度繰越金
収入合計(B)	4,213,469	4,053,115	△160,354	
II 支出の部				
1 事業費				
普及啓発事業	300,000	92,416	△207,584	会員証(ステッカー)、啓発事業
ホームページ運用管理	120,000	126,000	6,000	ホームページ更新手数料
会報発行	58,000	45,150	△12,850	会報 350部
受託事業	1,575,000	1,785,000	210,000	会場費、講師謝金、旅費、チラシ、賞切バス、ガイドブック印刷費、人件費等
GPN参加費	566,400	444,600	△121,800	A会員団体分 1,482,000×30%
商品展示会	160,000	147,000	△13,000	エコプロダクツ東北2007出展料
事業費支出合計	2,779,400	2,640,166	△139,234	
2 管理費				
給料手当	820,000	840,000	20,000	事務局人件費(月13万×6ヶ月)、アルバイト
旅費交通費	180,000	129,394	△50,606	滋賀、埼玉GNP他交通費
通信運搬費	170,000	227,372	57,372	通信費、振込手数料、GPNニュースレター年6回発送
消耗品費	50,000	14,503	△35,497	事務用品、会議費用
印刷製本費	30,000	0	△30,000	
賃借料	160,000	149,190	△10,810	
内訳 事務所賃借料	120,000	120,000	0	月1万×12ヶ月 環境会議所東北
	40,000	29,190	△10,810	GMOホスティング
租税公課	400	400	0	受託契約印紙代
貸倒損失	0	0	0	
予備費	23,669	29,448	5,779	地域ネット懇親会等、本代
管理費支出合計	1,434,069	1,390,307	△43,762	
当期支出合計(C)	4,213,469	4,030,473	△182,996	
当期収支差額(A)-(C)	△346,069	△323,427	22,642	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	22,642	22,642	



環境負荷削減効果

(1)レジ袋削減による環境負荷削減効果

①レジ袋使用量(国内)

1年間に日本で使用されるレジ袋を300億枚と仮定するとGPN500万人グリーン購入一斉行動によるレジ袋削減効果は、「1億416万667枚/月・500万人」になります。

②レジ袋1枚あたりのCO₂排出量

レジ袋1枚断ったときの、CO₂排出量の削減効果は、「46.5g-CO₂/枚」^(注)になります。

GPN500万人グリーン購入一斉行動によって削減できる1億416万667枚のCO₂削減効果は、**4,843t-CO₂**になります。

(CO₂削減効果: 4,843t-CO₂(1億416万667枚/月×46.5g-CO₂/枚))

注)「樹脂加工におけるインベントリーデータ調査報告書」

2000年1月(社)プラスチック処理促進協会

③CO₂排出量換算

日本の家庭からの二酸化炭素排出量は、「2,100kg-CO₂/年・人(175kg-CO₂/月・人)」と言われています(家庭からの二酸化炭素排出量(一人当たり、燃料種別-2006年)全国地球温暖化防止活動推進センター)。

②で削減できる4,843t-CO₂を家庭から排出されるCO₂排出量に置き換えると、27,674人になります。

これは、水俣市人口(28,622人)と同じ人口規模の1ヶ月間のCO₂排出量に相当します。

(4,843t-CO₂÷175kg-CO₂/月・人=27,674人)

(2)地場のものを選ぶことによる環境負荷削減効果

◆地場もの

日本のフードマイレージは約9,000億t・km^(注1)で、これは韓国や米国の3倍、英国やドイツの約5倍にも及びます。遠くから船や飛行機を使って食品を運ぶには、それだけ多くのエネルギーが必要となり、環境負荷という形として現れてきます。地場のものを食べることは車のアイドリングを5分短くすることによるCO₂削減効果(63g-CO₂/5分間^(注2))や1日の冷房時間を1時間短くすることによるCO₂削減効果(26g-CO₂/時間^(注2))と同等、もしくはそれ以上の効果があります。

◆旬

トマト(旬は夏)を露地栽培した場合と温室栽培した場合とでは、栽培時に発生するCO₂は、約4倍の差があります^(注3)これはハウスの中を加温したり、温度調節するために多くのエネルギーが必要となるからです。同じトマトやきゅうり、その他の野菜でも、旬の時期に食べることでエネルギー節減につながります。

参考文献

注1:「農林水産政策研究所レビュー」No.11農林水産政策研究所

注2:チームマイナス6%ホームページ

注3:「食品のLCAと持続可能な消費に向けた指標開発 平成17年度報告書」日本LCA学会

平成20年度事業計画

平成20年度
みやぎGPN事業計画

平成20年度収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

■普及啓発事業

○会員向け出前セミナーの開催

宮城県で実施されている出前講座を参考に、会員を対象とした出前セミナーを開催する。グリーン購入に関する話題や動きなどを情報提供し、各会員への情報提供の場とする。

日時:平成20年6月18日(水)午後1時30分～3時30分

会場:宮城県自治会館200・201会議室

(仙台市青葉区上杉一丁目2-3 2F)

内容:①GPN事務局 長谷川健一氏 「グリーン購入の最近の動向」

②宮城県 「わが社のe行動(eco dol)宣言による環境配慮実践事業者」認定について 他

対象:みやぎGPN会員、参加費無料 定員50名

○みやぎグリーン購入ネットワークPR チラシ作成

みやぎグリーン購入ネットワークの概要をA4サイズ両面にまとめ、PR用に作成する。

○市町村イベントへの出展によるグリーン購入の普及啓発

各市町で開催される環境フェア等の地域イベントの際に、みやぎGPNとしてパネルの展示、グリーン商品の展示などを行いグリーン購入の普及啓発及びみやぎGPNの周知を行う。ただし、一般市民対象で3年以上続けて参加したイベントの参加は見合わせ、新たな地域での普及を目指す。

○エコプロダクツ東北2008等への出展取りやめ

これまで「エコプロダクツ東北」への出展を行ってきたが、経費削減のため予算化しない。

○受託事業

1. グリーン購入セミナー

日時:平成20年7月10日(木)午後1時30分～3時40分

会場:エル・ソーラ仙台 大研修室(仙台市青葉区中央一丁目3-1 アエル28F)

内容:①GPN事務局次長 深津学治氏「グリーン購入の概要、最近の動向」

②テラライツマネジメントコンサルティングオフィス代表

山下健二氏「地域に根ざした中小企業向け環境マネジメントシステムへの期待」

対象:企業、GPN会員、参加費無料 定員70名

2. グリーン購入シンポジウム

日時:平成20年11月21日(金)午後

会場:エル・パーク仙台ギャラリーホール(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル6F)

内容:宮城県グリーン購入大賞表彰式、基調講演、受賞者を含めたトークセッション等

対象:一般、GPN会員 参加費無料 定員200名

3. グリーン購入ガイドブックの作成・仙北版22市町村

■情報発信事業

○ホームページの改良及び情報提供

ホームページによる会員情報、対談、グリーン購入に関する情報などの情報発信を行う。

○会報の発行(年1回発行)

ネットワークの活動について広く周知するため、年1回会報の発行を行う。

○メールマガジンの発行(月1回程度)

各企業からのイベント情報や新製品の情報など、速報性の高い情報について情報提供するため、月1回程度を基本としてメールマガジンの発行を行う。

科目	19年度 予算額	20年度 予算額	対前年予算 差額	摘要	
I 収入の部					
1 会費収入	2,202,400	1,950,000	△252,400	A会員128件1,400,000 B会員47件300,000 計175件 新規A会員25件250,000 合計200件	
2 事業収入	1,625,000	1,845,000	220,000		
内訳	受託収入	1,575,000	1,785,000	210,000	宮城県より
	事業収入	50,000	60,000	10,000	HPのバナー広告
3 負担金収入	0	0	0		
4 補助金等	0	0	0		
5 雑収入	40,000	30,000	△10,000	GPNよりチラシ配布手数料等	
当期収入合計(A)	3,867,400	3,825,000	△42,400		
前期繰越収支差額	346,069	22,642	△323,427	平成19年度繰越金	
収入合計(B)	4,213,469	3,847,642	△365,827		
II 支出の部					
1 事業費					
普及啓発事業	300,000	120,000	△180,000	チラシ、啓発事業	
ホームページ運用管理	120,000	126,000	6,000	ホームページ更新手数料	
会報発行	58,000	45,000	△13,000	会報	
受託事業	1,575,000	1,785,000	210,000	会場費、講師謝金、旅費、チラシ、印刷費、人件費等	
GPN参加費	566,400	495,000	△71,400	A会員153件 1,650,000×30%	
商品展示会	160,000	0	△160,000		
事業費支出合計	2,779,400	2,571,000	△208,400		
2 管理費					
給料手当	820,000	710,000	△110,000	事務局人件費(月13万×6ヶ月)、取材、アルバイト等	
旅費交通費	180,000	130,000	△50,000	交通費	
通信運搬費	170,000	220,000	50,000	通信費、振込手数料、GPNニュースレター年6回発送	
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品、角2封筒	
印刷製本費	30,000	0	△30,000		
賃借料	160,000	150,000	△10,000		
内訳	事務所賃借料	120,000	120,000	0	月1万×12ヶ月 環境会議所東北
	Webホスティング料	40,000	30,000	△10,000	GMOホスティング
租税公課	400	400	0	受託契約印紙代	
貸倒損失	0	0	0		
予備費	23,669	16,242	△7,427		
管理費支出合計	1,434,069	1,276,642	△157,427		
当期支出合計(C)	4,213,469	3,847,642	△365,827		
当期収支差額(A)-(C)	△346,069	△22,642	323,427		
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0		